

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
災害看護	3年次 前期	必修	講義	1単位（15時間）	霜垣 美由紀※
授 業 概 要					
<p>近年、地球温暖化に伴う気候変動などの影響もあり、災害の頻度や規模が拡大し、被害も増大している。このような状況の中で被災傷病者の医療・看護への期待は大きく、看護職者は人々の健康に関わる看護の専門職として役割を発揮していくことが求められている。災害時の救援活動は、救護チームとして活動し、国や地域の災害対策にのっとり実施される。災害活動の法的根拠や他職種と協働し、災害時の看護活動を円滑に行うために必要となる災害医療・看護の基礎知識を身につける。医療従事者を目指す者として救急蘇生法を身につける必要がある。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害医療・災害看護の基礎的知識を述べる。 2. 災害サイクルに応じた災害看護について説明する。 3. 災害とこころのケアについて気づきを示す。 4. 成人の救急蘇生をモデルに対して正確に実施する。 5. プレホスピタルケアの必要性を認める。 					
実務経験のある教員					
霜垣美由紀・南雲陽子：臨床現場での実践を踏まえ、救急医療、災害医療がどのように行われているか教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	1. 救急看護				霜垣 美由紀※
2,3	2. プレホスピタルケアの必要性				
4-8	3. 一次救命処置（BLS） 心肺蘇生法・AED（自動体外式徐細動器）				霜垣 美由紀※ 南雲 陽子※ 外部講師
	4. 災害医療と看護				
	1) 災害及び災害看護の基礎知識				
	(1) 災害の種類と健康障害				
	(2) 災害医療の特徴				
	(3) DMAT				
	2) トリアージの意義と方法				
	(1) スタート法・・・演習				
	(2) トリアージタグの取り扱い				
	3) 災害看護の基礎				
	4) 災害サイクルと看護				
	(1) 急性期・亜急性期				
	(2) 慢性期・復興期				
	(3) 静穏期				
	4) こころのケア				
	5) 演習				
	(1) 止血法				
	(2) 搬送法				
学 習 方 法					
講義、演習。提示した課題についてレポートを提出する。グループワークやレポートなどで積極的に授業に参加する。新聞、インターネット、その他から情報を自ら得て、自ら考え追求していく姿勢が必要である。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験、詳細は授業初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 公衆衛生看護学 jP 荒賀直子 インターメディカル 新体系看護学全集 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 系統看護学講座 成人看護学総論 医学書院					